

2 野菜

(1) トマト 農薬登録情報

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
着果促進、果実肥大促進、熟期の促進	トマトトーン (4-C P A 0.15%)	1 芽及び幼葉にかからないよう注意する。 2 花又は花房がぬれる程度に噴霧する。
空どう果防止 ※ミニトマトは除く	ジベレリン液剤 (ジベレリン0.5%) ジベレリン、ジベレリン粉末 (ジベレリン3.1%) ジベラ錠 (ジベレリン3.58%) ジベラ錠5 (ジベレリン2.78%)	1 トマトの落果防止剤を使用した後散布すると効果が若干劣るので、本剤を先に散布するか、混用して使用する。

(2) なす 農薬登録情報

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
着果促進、果実の肥大促進、熟期の促進	トマトトーン (4-C P A 0.15%)	1 芽及び幼葉にかからないよう注意する。 2 開花した花ごとに、花がぬれる程度に噴霧する。

(3) いちご(促成栽培) 農薬登録情報

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
着果数増加、熟期促進	ジベレリン、ジベレリン粉末 (ジベレリン3.1%) ジベレリン液剤 (ジベレリン0.5%) ジベレリン錠剤 (ジベレリン4.55%) ジベラ錠 (ジベレリン3.58%) ジベラ錠5 (ジベレリン2.78%)	1 処理した場合、寒害を受けやすくなるので、保温に十分留意する。 2 促成イチゴでは、時期が遅れて休眠に入ってからでは効果は期待できない。また、過剰処理は、根の発育抑制やくず果を増加させるので注意する。

(4) すいか 農薬登録情報

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
着果促進	塗布用ベアニン (ベンジルアミノプリン 1.0%)	1 つるの先端部や子房につけると薬害を生じる。 2 果梗が短太となりもろくなる場合がある。 3 単為結果を促進する効果はないので、必ず人工授粉を併用する。
着果促進	フルメット液剤 (ホルクロルフェニユロン 0.1%)	1 塗布量が多すぎると、果梗部の異常肥大や、果梗部に近い果実基部付近の果皮の肥大、あるいは黄帯部分の増加等薬害発現のおそれがある。 2 品質低下を防止するため、人工授粉と併用すること。

(5) メロン 農薬登録情報

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
着果促進	トマトトーン (4-C P A 0.15%)	1 子房だけに噴霧する時は、人工授粉と併用すること。 2 低温時(20℃以下)には希釈倍率を低くし、高濃度で使用するこ
ネット形成促進及び果実肥大促進	アークランド液剤 (1-ナフタレン酢酸ナトリウム0.2%)	1 散布液の濃度を厳守する。また、調製した薬液はその日のうちに散布する。 2 散布条件により薬効薬害の影響が出やすいので、他剤との混用は避ける。 3 夏期高温時の高濃度散布は避ける。 4 ノーネット系メロンへの使用は避ける。

ア アムスメロン、プリンスメロン、コサックメロン

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
着果促進	フルメット液剤 (ホルクロルフェニユロン 0.1%)	1 塗布量が多いと薬害を生じやすい。 2 品質低下を防止するため、必ず人工授粉と併用すること。

(6) しろうり [農薬登録情報](#)

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
着果促進	トマトトーン (4-CPA 0.15%)	

(7) ズッキーニ [農薬登録情報](#)

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
着果促進	トマトトーン (4-CPA 0.15%)	1 ズッキーニは、生育初期の雄花が少ない時期は結実が不安定であり、十分な効果が期待できないので使用しない。

(8) キャベツ [農薬登録情報](#)

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
育苗期の伸長抑制	スミセブンP液剤 (ウニコナゾールP 0.025%)	

(9) レタス [農薬登録情報](#)

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
育苗期の伸長抑制	スミセブンP液剤 (ウニコナゾールP 0.025%)	

(10) うど(春うど) [農薬登録情報](#)

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
休眠打破による生育促進	ジベレリン液剤 (ジベレリン0.5%) ジベレリン、ジベレリン粉末 (ジベレリン3.1%) ジベラ錠 (ジベレリン3.58%) ジベラ錠5 (ジベレリン2.78%)	1 処理前に土をよく落とし、芽及び根株が十分したたる程度に散布又は瞬間浸漬する。 2 かん水は、散布当日は避け、翌日行う。 3 伏込後目土の上から散布しない。

(11) ふき [農薬登録情報](#)

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
生育促進	ジベレリン液剤 (ジベレリン0.5%) ジベレリン、ジベレリン粉末 (ジベレリン3.1%) ジベラ錠 (ジベレリン3.58%) ジベラ錠5 (ジベレリン2.78%)	1 収穫間近の散布は、効果が低下するので避ける。

(12) みつば [農薬登録情報](#)

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
生育促進	ジベレリン液剤 (ジベレリン0.5%) ジベレリン、ジベレリン粉末 (ジベレリン3.1%) ジベレリン錠剤 (ジベレリン4.55%) ジベラ錠 (ジベレリン3.58%) ジベラ錠5 (ジベレリン2.78%)	(軟化栽培) 1 かん水は、散布当日は避け、翌日行う。 (軟化栽培除く) 1 高温長日条件の散布は抽苔しやすくなるので、秋作を中心に処理した方がよい。